

2021年3月期 通期 決算説明 & 2023中期経営計画説明資料

1 連結業績の概要

- 1) 連結業績概要 … P.3
- 2) 営業利益の増減要因 … P.4
- 3) セグメント別売上高・営業利益 … P.5

2 連結業績の詳細

- 1) セグメント別売上高・営業利益 … P.7
- 2) 2021年3月期 配当について … P.13

3 2023中期経営計画

- 1) 2020中期経営計画 総括 … P.15
- 2) 2023中期経営計画 … P.19
 - ・コンセプト … P.20
 - ・成長戦略の方向性 … P.21
 - ・基本方針／業績目標 … P.22
 - ・基本方針／重点実施事項 … P.23
 - ・セグメント別業績目標 … P.24
 - ・海外事業戦略 … P.25
 - ・国内事業戦略 … P.28
 - ・新領域事業 … P.31
 - ・資本・財務戦略/投資計画 … P.32
 - ・株主還元 … P.33



4 2022年3月期 業績予想

- 1) 2022年3月期 業績予想 … P.35
- 2) セグメント別売上高・営業利益 … P.36
- 3) 海外地域別売上高 … P.37
- 4) 設備投資他 … P.38

参考資料

- ・2021年3月期 通期
 - 損益計算書・包括利益計算書 … P.40
 - 貸借対照表 … P.41
 - キャッシュ・フロー計算書 … P.42
 - 予想比 … P.43
 - 設備投資他 … P.44

2021年3月期 通期



連結業績の概要

【新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、前期に比べ減収減益】

- ・国内市場：主要製品の更新需要に加え、新500円硬貨発行に伴う改造作業などにより保守売上高が増加
- ・海外市場：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、事業活動が制限されたため販売が減少

(百万円)	2020年3月期		2021年3月期		前期比
	通 期	売上高比率	通 期	売上高比率	
売上高	224,170	100.0%	217,423	100.0%	-6,747 -3.0%
保守売上高	71,099	31.7%	78,675	36.2%	7,576 10.7%
営業利益	17,927	8.0%	14,201	6.5%	-3,726 -20.8%
経常利益	<u>15,514</u>	<u>6.9%</u>	<u>14,137</u>	<u>6.5%</u>	<u>-1,377</u> <u>-8.9%</u>
親会社株主に帰属する 当期純利益	<u>8,486</u>	<u>3.8%</u>	<u>5,705</u>	<u>2.6%</u>	<u>-2,781</u> <u>-32.8%</u>
EBITDA	31,865	14.2%	29,410	13.5%	-2,455 -7.7%

為替 レート	ドル	109 円	106 円
	ユーロ	121 円	124 円

※EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却費

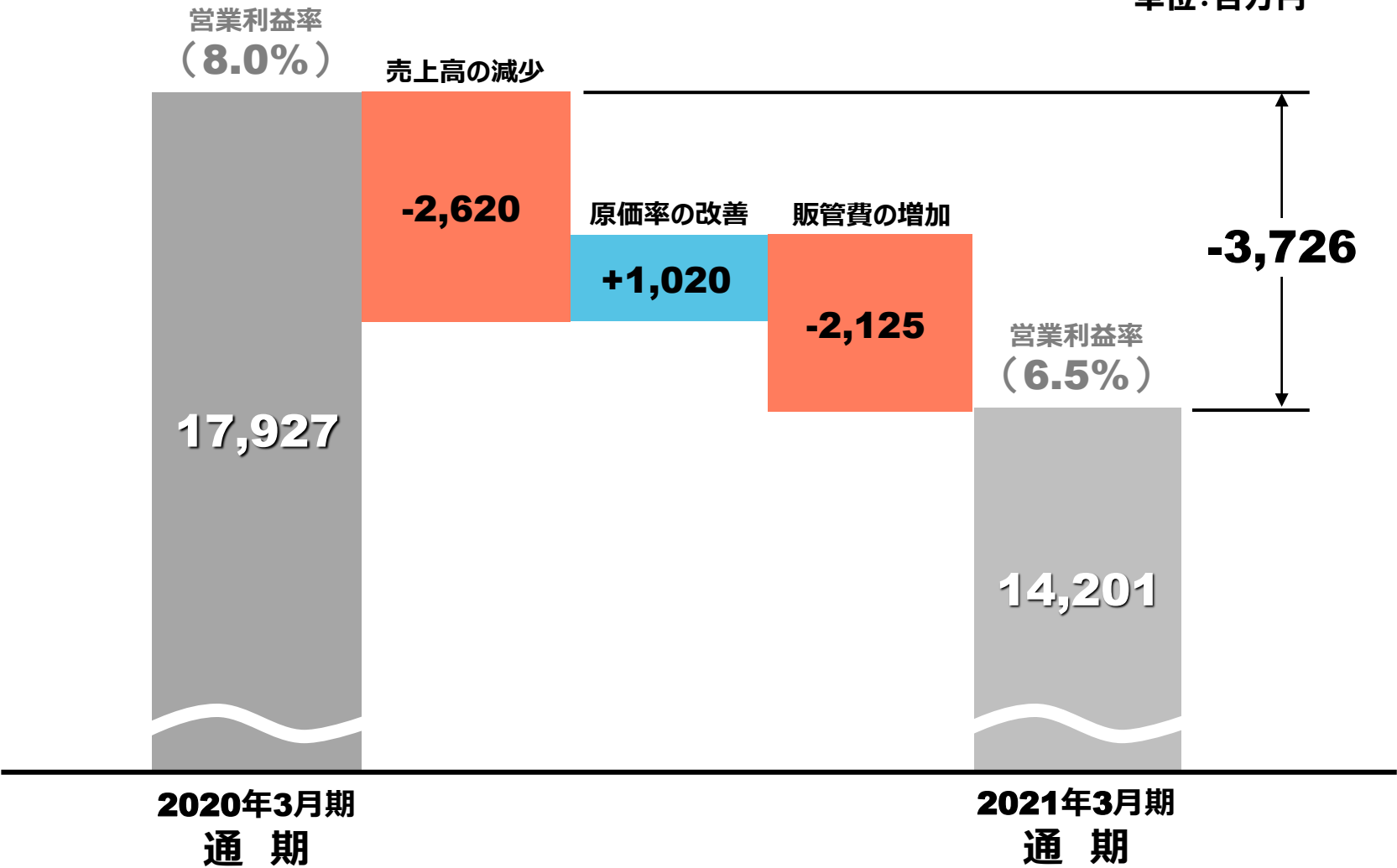
営業利益 増減要因



Confidence Enabled
人と社会の「新たな信頼」の創造へ

単位: 百万円

- **売上高減少の影響**
海外市場・金融市場以外の
セグメントで売上高減少
売上高 2,147億円(前期比-67億円)
- **原価率改善の効果**
主要製品の販売増加
原価率 60.7%(前期比-0.5pt)
- **販管費の増加**
アクレック等の連結組み入れ
による増加
販管費712億円(前期比+21億円)
- **営業利益率の増減**
前期比-1.5pt



セグメント別売上高・営業利益

(百万円)		売上高			営業利益		
		通 期		前期比	通 期		前期比
		2020年3月期	2021年3月期		2020年3月期	2021年3月期	
	海外市場	103,621	104,765	+1,144 +1.1 %	9,780	3,836	-5,944 -60.8 %
	金融市場	42,262	49,877	+7,615 +18.0 %	3,314	9,861	+6,547 +197.6 %
	流通・交通 市場	52,487	48,789	-3,698 -7.0 %	5,198	2,883	-2,315 -44.5 %
	遊技市場	20,753	11,020	-9,733 -46.9 %	1,998	-290	-2,288 - %
	その他	5,045	2,969	-2,076 -41.1 %	-2,364	-2,089	+275 - %
	合 計	224,170	217,423	-6,747 -3.0 %	17,927	14,201	-3,726 -20.8 %

2021年3月期 通期

2

連結業績の詳細

百万円	2020年3月期 通 期	2021年3月期 通 期	前期比
売上高	103,621	104,765	+1,144 +1.1 %
売上高 構成比率	46.2 %	48.2 %	+2.0 pt
営業利益	9,780	3,836	-5,944 -60.8 %
営業 利益率	9.4 %	3.7 %	-5.7 pt

業績のポイント

- ・金融市場：
 - ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、
※TCRの販売は低調 ※ TCR：紙幣幣入出金機
- ・リテール市場：
 - ・コンタクトレス、セルフ化ニーズを受け、セルフ型レジつり銭機の販売が増加。
 - ・アクレック社の販売は3Q以降に回復

主要製品



紙幣硬貨入出金機
CI-10シリーズ



セルフサービス
キオスク



紙幣入出金機
GLRシリーズ



テラーアシスト
セルフサービス機
G200シリーズ

セグメントの概要

海外の金融機関、警備輸送会社、小売店、カジノ、OEM先等への販売・保守

地域別売上高



Confidence Enabled
人と社会の「新たな信頼」の創造へ

(百万円)		通 期		前期比	
		2020年3月期	2021年3月期		現地通貨ベース
	米州	38,189	34,741	-3,448 -9.0 %	-6.7%
	欧州	43,313	49,483	+6,170 +14.2 %	+11.6%
	アジア	14,802	14,153	-649 -4.4 %	-
	中国	5,694	5,521	-173 -3.0 %	-3.5%
	OEM	7,316	6,386	-930 -12.7 %	-12.7%
	合 計	103,621	104,765	+1,144 +1.1 %	-

内 アクレック	通 期		前期比
	2020年3月期	2021年3月期	
	-	1,125	- %
	-	7,297	- %
	-	450	- %
	-	-	- %
	-	-	- %
	-	8,873	- %

※2021年3月期 第2四半期よりアクレック社を連結業績に組み入れ

- 米 州 …

■ 欧 州 …

■ アジア …

■ 中 国 …

■ O E M …

}

リテール市場向け製品の販売は順調

金融市場向け製品（TCR）の販売は低調

金融市場向け製品（紙幣整理機）の販売は前期並み

金融市場向け製品（紙幣整理機）の販売は前期並み

ATM用ユニットの販売は低調

百万円	2020年3月期 通 期	2021年3月期 通 期	前期比
売上高	42,262	49,877	+7,615 +18.0 %
構成比率	18.9 %	22.9 %	+4.0 pt
営業利益	3,314	9,861	+6,547 +197.6 %
営業利益率	7.8 %	19.8 %	+12.0 pt

業績のポイント

- ・主要製品のオープン出納システムや窓口用紙幣硬貨入出金機の販売は更新需要の獲得により好調
- ・新500円硬貨発行に伴う改造作業などにより保守売上高が増加

主要製品



オープン出納システム
WAVEシリーズ



窓口用
紙幣硬貨入出金機
RBシリーズ



マルチドキュメント
スキャナー
FUシリーズ



重要物管理機
BKシリーズ

セグメントの概要

国内の金融機関、O E M先等への販売・保守

百万円	2020年3月期 通 期	2021年3月期 通 期	前期比
売上高	52,487	48,789	-3,698 -7.0 %
構成比率			-1.0 pt
営業利益	5,198	2,883	-2,315 -44.5 %
営業利益率	9.9 %	5.9 %	-4.0 pt

業績のポイント

- ・レジつり銭機は前期の大口案件を除くと販売は順調
コンタクトレスニーズやセルフ化ニーズに需要拡大
- ・新500円硬貨発行に伴う改造作業などにより保守売上高が増加

主要製品



セグメントの概要

国内のスーパーマーケット、百貨店、警備輸送会社、公共交通機関、病院自治体等への販売・保守

百万円	2020年3月期 通 期	2021年3月期 通 期	前期比
売上高	20,753	11,020	-9,733 -46.9 %
構成比率			-4.2 pt
営業利益	1,998	-290	-2,288 - %
営業利益率	9.6 %	- %	- pt

業績のポイント

- ・新型コロナウイルス感染症拡大による来店客減少等の影響もあり、ホールは設備投資に慎重な姿勢
- ・主要製品の「カードシステム」や「賞品保管機」の販売は低調

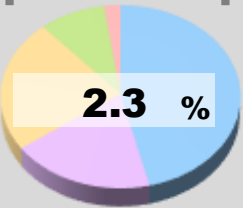
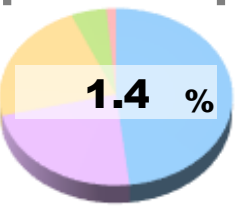
主要製品

ICカードシステム



セグメントの概要

国内の遊技場(パチンコホール等)への販売・保守

百万円	2020年3月期 通 期	2021年3月期 通 期	前期比
売上高	5,045	2,969	-2,076 -41.1 %
構成 比率	 2.3 %	 1.4 %	-0.9 pt
営業利益	-2,364	-2,089	+275 - %
営業 利益率	- %	- %	- pt

業績のポイント

- ・新事業部門への人的リソースの投入や実証実験など、戦略的投資を継続実施

主要製品・事業



顔認証システム



ロボットSI事業

セグメントの概要

4つの報告セグメントに属さない販売・保守

2021年3月期 配当について

利益配分に関する基本方針

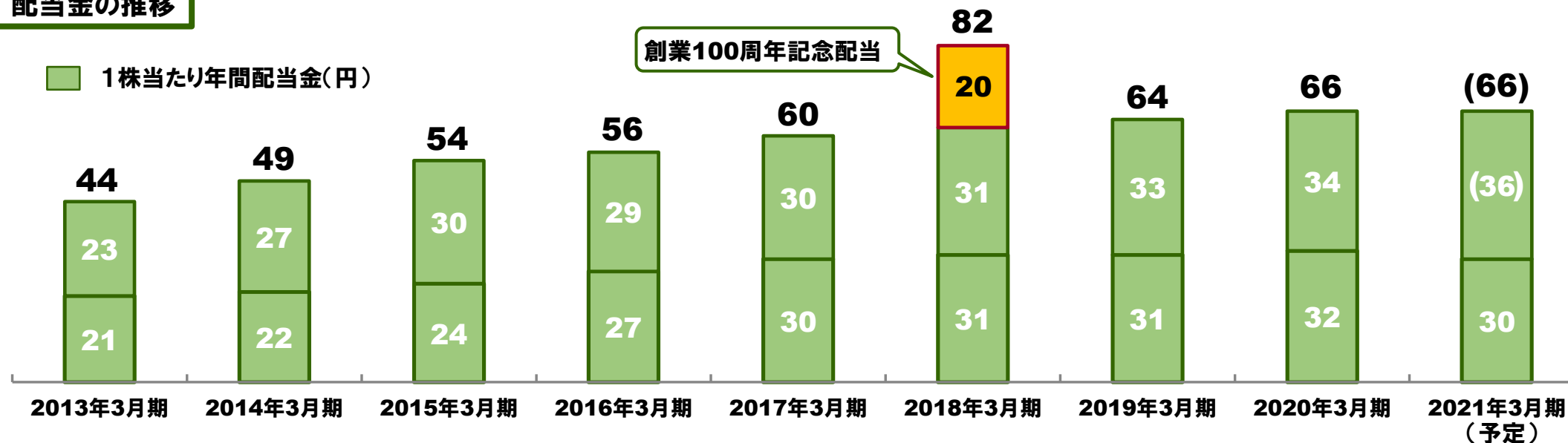
将来の事業展開に備えた財務体質の維持・強化を図りつつ、安定した配当を継続していくことを基本方針とし、

連結配当性向30%以上を目標に、配当を実施することとしております。

1株当たりの配当金	第2四半期末	期末(予定)	年間(予定)
	30円	36円	66円

※期末配当につきましては、2021年6月25日開催予定の第75回定時株主総会に付議する予定です。

配当金の推移





GLORY 2023

Glory Group Medium-Term Management Plan

3

グローリーグループ 2023中期経営計画

(2021年度 ～ 2023年度)



GLORY 2020

Glory Group Medium-Term Management Plan

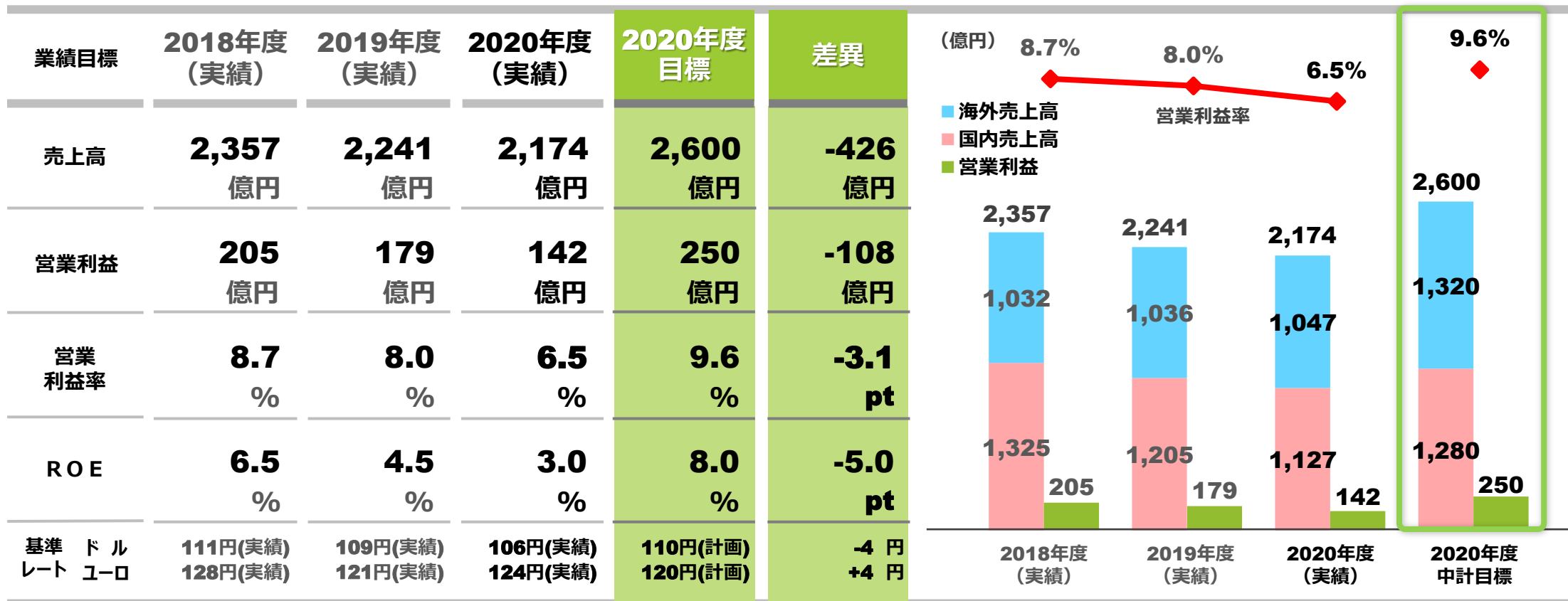
2020中期経営計画 総括

(2018年度 ～ 2020年度)

2020中期経営計画の総括

【新型コロナウイルス感染症拡大の影響により**中期経営計画の業績目標は未達**】

- ・国内市場：保守売上の下支えとコンタクトレス・セルフ化ニーズの拡大を受け、金融・流通は**売上計画達成**
- ・海外市場：商談の長期化に加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により**計画は未達**
- ・新事業：成長に向けた**事業基盤の整備を実行**

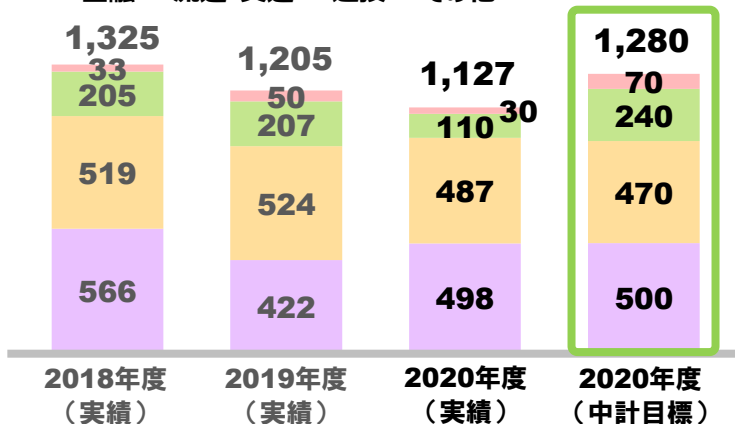


2020中期経営計画 総括（事業戦略）

【国内事業】 市場の変化に柔軟に対応したソリューション提案の推進－次世代店舗スタイルの実現、非現金事業分野の拡大－

（単位：億円）

■金融 ■流通・交通 ■遊技 ■その他

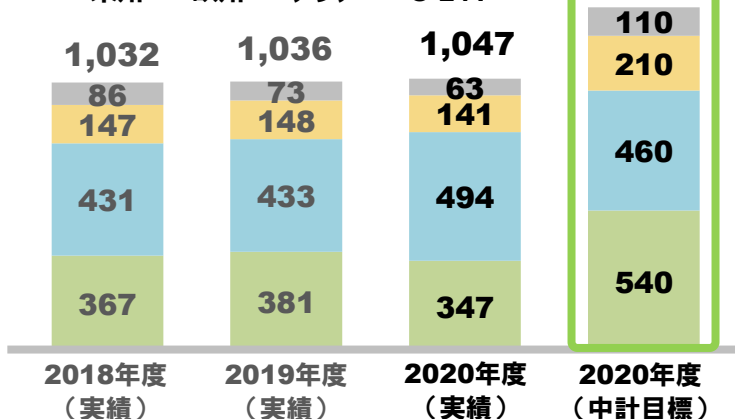


	重点施策	総括
金融	・次世代店舗スタイルを実現する製品の販売拡大 ・主要製品の裾野拡大	・次世代店舗構想に対応したセルフ型製品などを拡充 ・WAVEやRBなど主力製品の大口需要の獲得 ・新500円硬貨発行に伴う改造作業等による保守売上高の増加
流通・交通	・レジつり銭機(セルフレジ)・券売機などセルフ機の販売強化 ・非現金事業分野の販売拡大 →電子決済、帳票処理、生体認証	・コンタクトレス、セルフ化ニーズの拡大を捉え、レジつり銭機や券売機などセルフ型製品の販売拡大 ・決済手数料ビジネス、医療費後払いシステムの展開
遊技	ソリューション提案の強化による収益拡大	コロナの影響による設備投資抑制により販売減少

【海外事業】 セルフオペレーション化による金融事業の再成長とリテール事業のさらなる加速

（単位：億円）

■米州 ■欧州 ■アジア ■OEM



地域	重点施策	総括
欧米	（金融） ※ TCRの浸透率向上及びセルフ市場の開拓 （リテール） バックオフィス市場の拡販強化とフロント市場への参入 ※TCR：窓口用紙幣入出金機	（金融） 米国：コロナ影響により、新規、更新需要の商談が延伸 欧州：コロナ影響により、TCR販売は苦戦したが、セルフ型製品は販売拡大 （リテール） 米国：セルフ型ニーズを受け、フロント市場の販売拡大 欧州：バックオフィス、フロント市場とも拡販
アジア	（金融） 主要国でのTCRの販売拡大 （リテール） 高度成長期待国への投資	（金融） コロナ影響により、シンガポール、中国などの主要国でTCRの販売は低調 （リテール） シンガポール、オーストラリアなどの主要国でリテール製品の販売拡大

2020中期経営計画 総括（成長に向けた基盤整備）

【戦略投資総額】2018年度～2020年度：約455億円

1) 直販・直メンテナンス網の拡大・強化（約100億円）



(イタリア)

- ・Sitrade Italia S.p.A.出資比率を75%に
- ・CTS Solutions S.r.l.を子会社化



(メキシコ)

販売代理店(Sortek社)を子会社化



(オーストリア)

オーストリアに現地法人を設立

3) 新事業領域の創出・推進（約35億円）

BIC

ビジネス・イノベーション・センター

ロボットSI事業

- ・既存事業に対する付加価値の創出（短期・中期）
- ・新しいビジネスモデルの創出（中期・長期）

- ・自動化の推進（短期・中期）



2) リテール市場の拡大（約320億円）

買収/提携	企業名	 Acrelec Group S.A.S	 viafintech GmbH SOCASH PTE. LTD	 フュートレック	 アドインテ	 ショーケース・ギグ
	金額	242億円	非公開	26億円	非公開	非公開
ソリューション		・店舗運営プラットフォーム ・ノンキャッシュ決済 ・ユーザーエクスペリエンス	・キャッシュ・アクセスポイントの拡大 ・eコマースの現金決済プラットフォームの提供	・音声認識技術を活用したソリューション ・CRM(顧客管理システム)の提供	・小売店および飲食店の来店客分析を通じた集客力の向上 ・Webターゲティング広告	・飲食店への多様な注文方法の提供による集客力の向上
シナジー効果		・グローバルファストフードチェーンへのレジつり銭機の販売拡大 ・両社の販路を活用した製品のクロスセル ・グローリー保有技術との融合による新たなサービスの創造 など	・レジつり銭機の販売拡大 ・入出金機の販売拡大 ・顧客基盤の裾野拡大 ・低コストキャッシュサイクルの実現 など	・多様な決済手段の提供 ・画像認識技術と音声認識技術の融合による高度な個人認証システムの提供 など	・店舗におけるCS改善や業務フロー改善のための分析・施策の提案 ・当社製品データとアドインテのデータ活用によるサービス提供 など	・集客・創客につながる顧客・店舗分析・施策の提案 ・グローリーとショーケース・ギグ社のデータ活用によるサービス提供 など



2023中期経営計画

(2021年度 ～ 2023年度)

コンセプト

コア事業と新領域事業のクロス成長

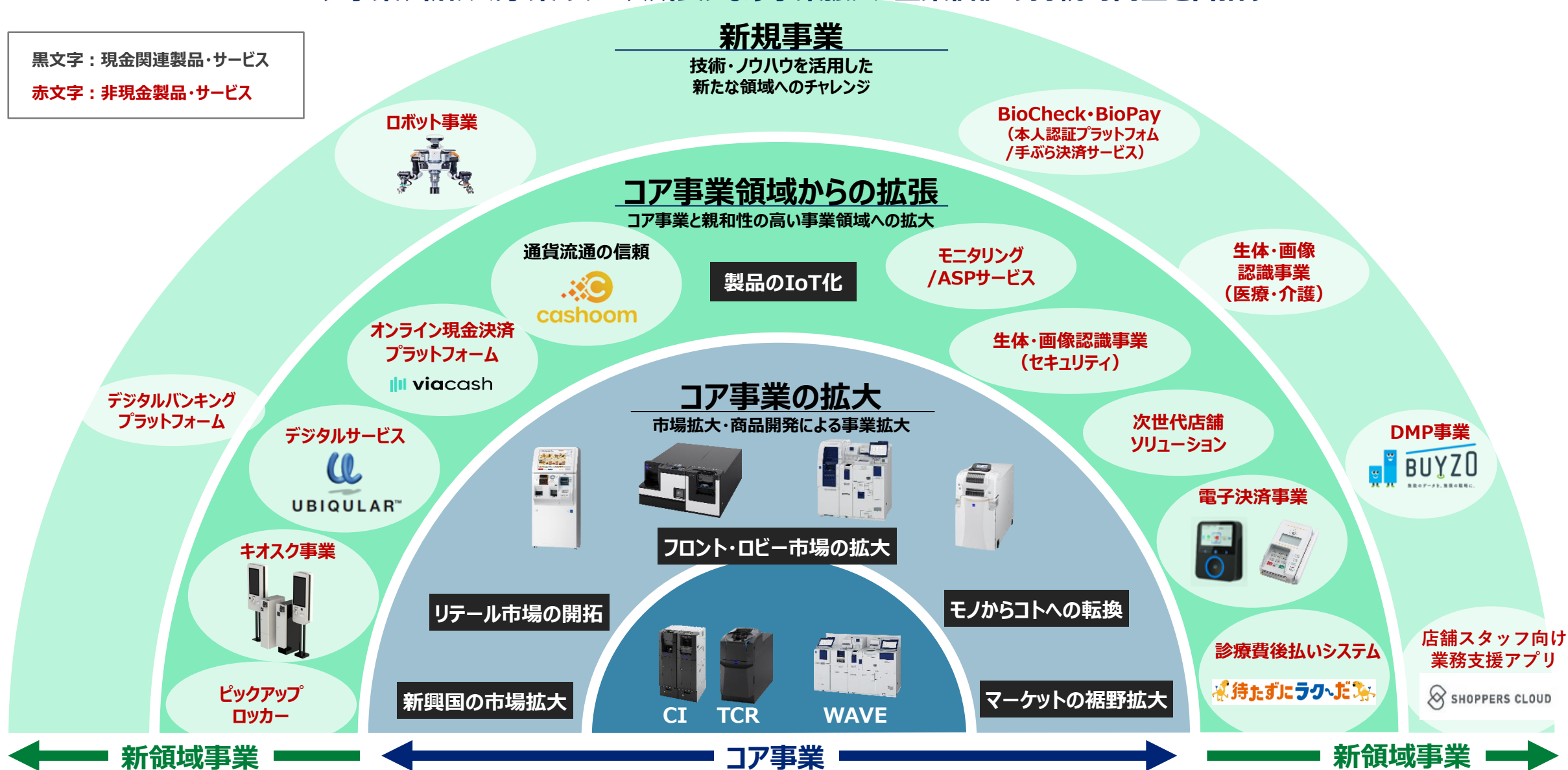


成長戦略の方向性

コア事業、新領域事業のクロス成長により事業拡大・企業価値の持続的向上を目指す

黒文字：現金関連製品・サービス

赤文字：非現金製品・サービス



コンセプト

コア事業と新領域事業のクロス成長

基本方針

事業戦略

次世代を切り拓く事業開発の加速

コア事業の革新による収益の最大化

経営基盤

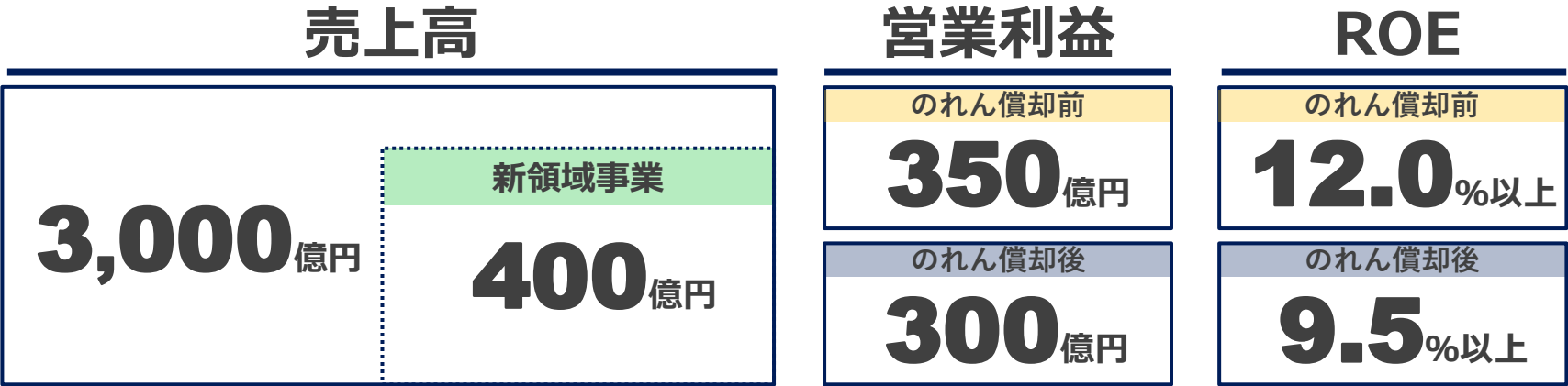
持続的成長を支える経営基盤の構築

サステナビリティ
方針

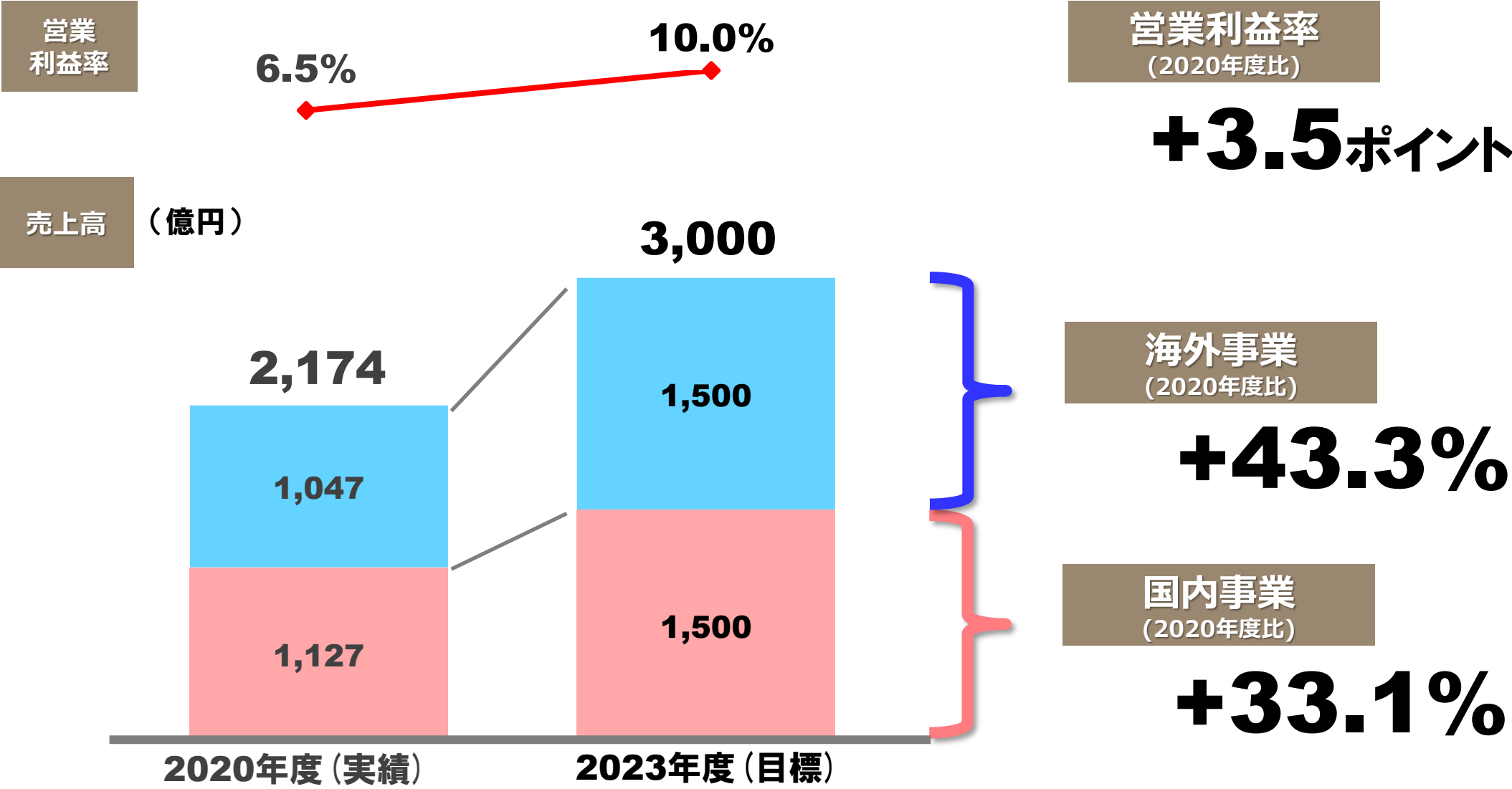
社会の持続的成長への貢献と企業価値向上を目指した取り組みの推進

業績目標

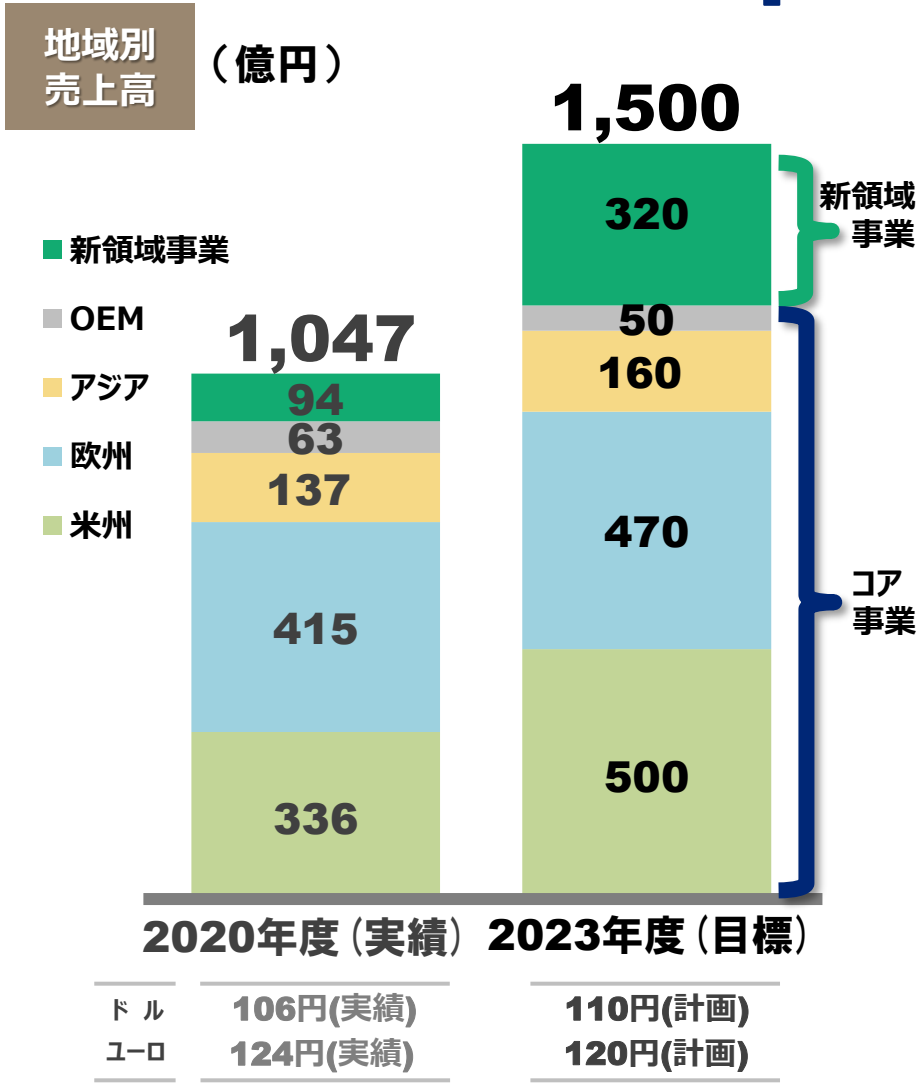
2023年度



基本方針		重点実施事項	主な製品／サービス
事業戦略	I 次世代を切り拓く事業開発の加速	● コア事業と親和性の高い事業領域の拡大(キオスク・DMP・電子決済サービスなど) ● 国内営業チャネルを活用した生体・画像認識事業、ロボット事業の収益化	 キオスク
	II コア事業の革新による収益の最大化	● コンタクトレス、セルフ化ニーズを捉えた製品・サービスの拡大 ● 最新型製品(※TCR、レジつり銭機など)の投入 ● 国内の新紙幣発行に伴う更新需要の獲得 ※TCR：紙幣入出金機	 レジつり銭機 オープン CIシリーズ GLRシリーズ 出納システム機
経営基盤	III 持続的成長を支える経営基盤の構築	● 成長投資と充実した株主還元を支えるキャッシュ創出力の強化 ● スピーディーな経営判断をサポートする新ERPシステム導入などDXの推進 ● 社員エンゲージメントの向上	
サステナビリティ方針		● 脱炭素社会実現に向けてCO₂排出量15%削減（2013年度比） ● 人権と多様性の尊重 ● コーポレートガバナンスのさらなる強化	
社会の持続的成長への貢献と企業価値向上を目指した取り組みの推進			

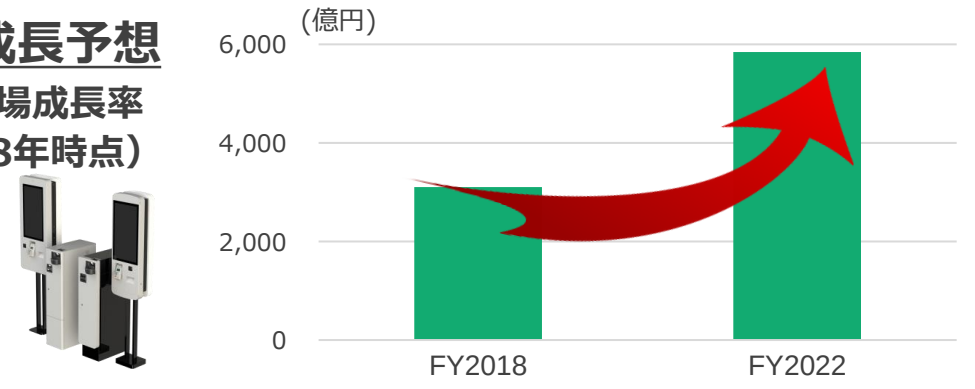


Expanding Beyond Cash !!



	リテール市場 重点施策	金融市場 重点施策
コア事業	・セルフ化ニーズを捉えたレジつり銭機の拡販 ・バックオフィス向け製品のさらなるグローバル展開 ・キオスクやデジタルサービス(UBIQULAR)との連携によるCIシリーズの拡張	・最新型TCRの販売拡大 ・セルフ型製品・サービスの販売強化 (G200シリーズ、Teller Infinityなど)
新領域事業	・Acrelecとのシナジーの早期実現 ・ATMに代わる現金インフラ (viacashなど)の提供 ・クラウドを用いた新デジタルサービスソリューション(UBIQULAR)の拡販	

キオスク市場の成長予想
今後5年間の平均市場成長率は14%以上 (2018年時点)



コア事業

TCRおよびセルフ機の販売拡大

窓口業務のさらなる効率化



セルフサービスソリューション



G200シリーズ



Teller Infinity

新領域事業

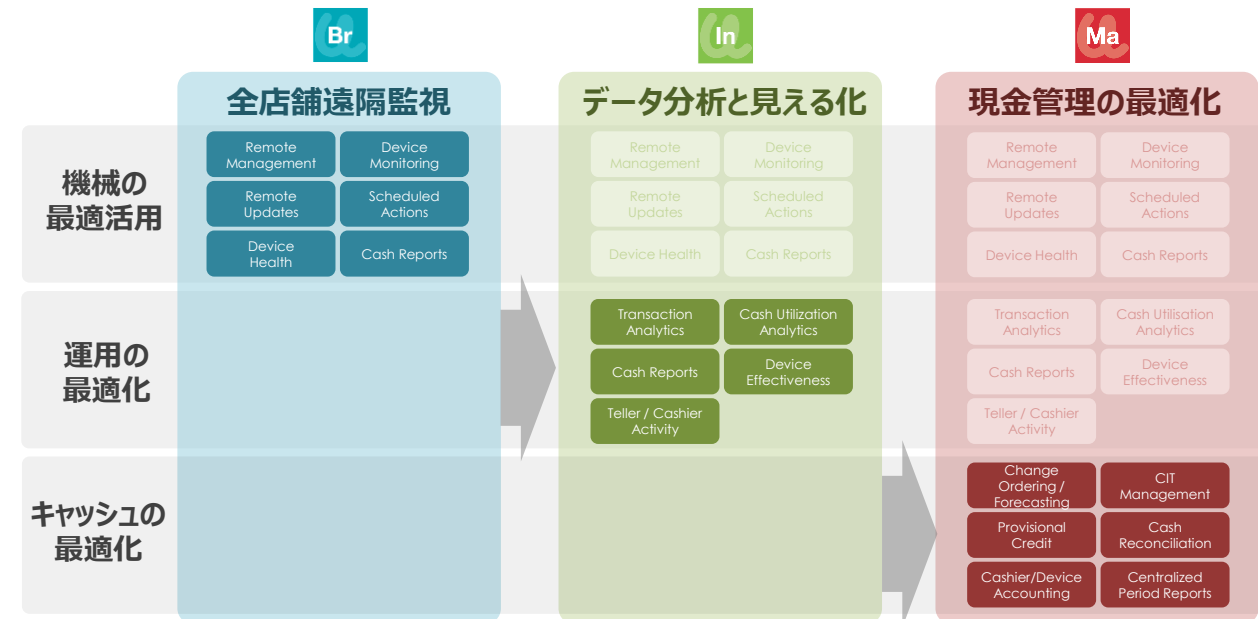
新デジタルサービスソリューション「UBIQULAR™」の拡販



1. 主要製品とUBIQULARの接続機能を搭載

2. クラウドを用いたサービスの展開

- Br ① Bridge（遠隔監視）
- In ② Inform（業務分析）
- Ma ③ Manage（資金管理）など

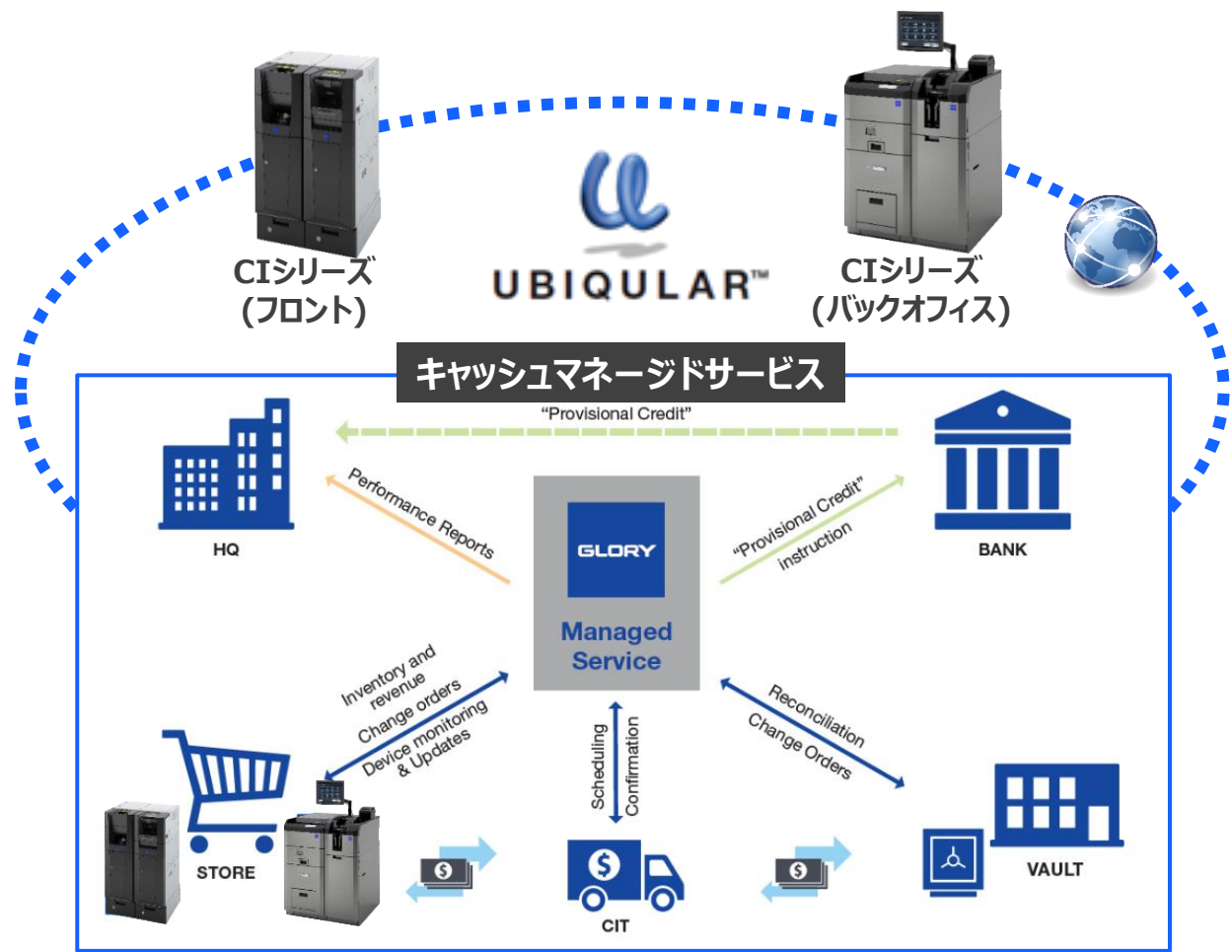


コア事業

コンタクトレス・セルフ化ニーズへの対応強化

フロント ソリューション

バックオフィス ソリューション



新領域事業

Acrelecとのシナジーの早期実現

主要顧客であるビッグリテラーへの導入、及びクリック＆コレクトの新規顧客獲得

クリック＆コレクト

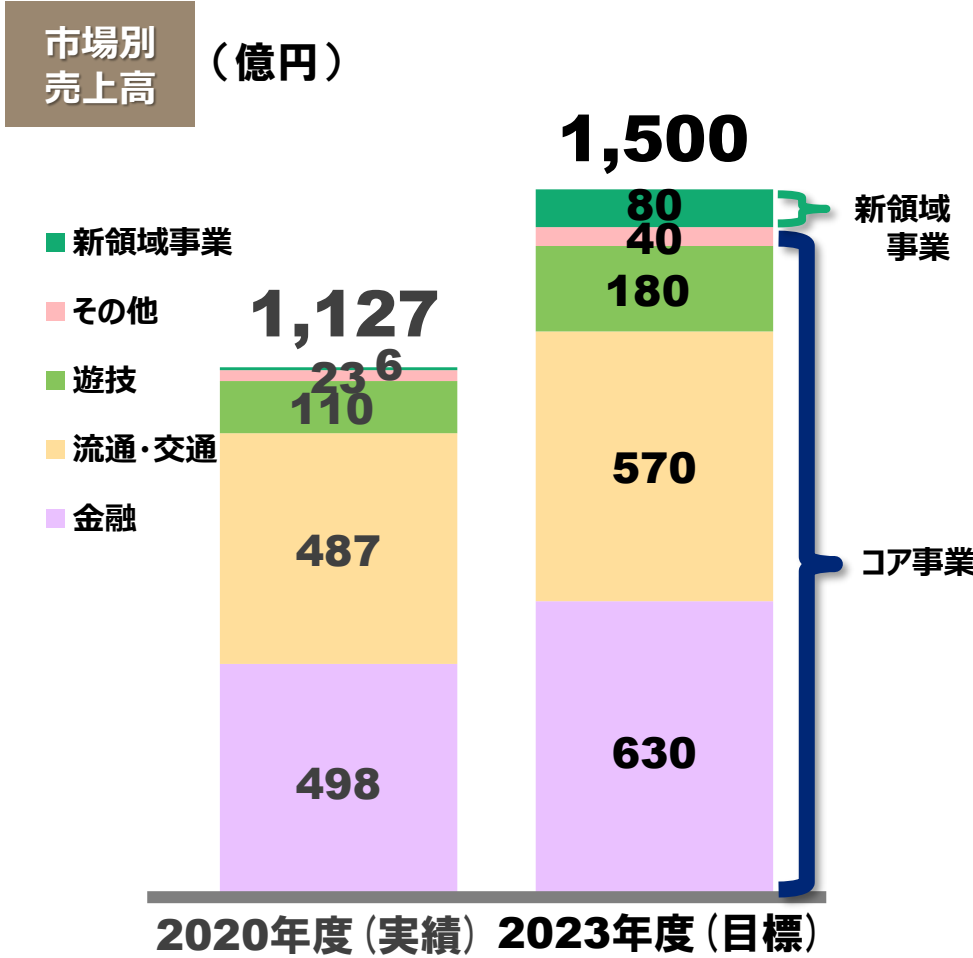
ネットで注文した商品を店舗やドライブスルーで受け取る非接触型のショッピングスタイル

【製品ごとの戦略】

	ドライブスルー	キオスク	クリック＆コレクト	セルフチェックアウト
飲食市場				
ファストフード、カフェ、パン屋	●	●	●	●
ファストカジュアル	●	●	●	●
ケータリング		●	●	●
リテール市場				
ホームセンター、コンビニ、薬局	●		●	●
娯楽施設		●		
スーパー、食料品店		●	●	●



顧客基盤を軸とした付加価値創造と事業領域の拡大



*DMP (=Data Management Platform)
資本業務提携したアドインテ社のAIピーコンを活用し、自社や外部などの様々なデータを
抱合、分割・正規化し、それらを保存・管理するプラットフォーム

	セグメント	重点施策
コア事業	共通	■ 新紙幣発行の対応 ■ ・社会インフラを支える企業としての使命を遂行 ・新紙幣発行に伴う更新需要の獲得
	金融	・セルフ型製品による次世代店舗の提案強化 ・製品のIoT化による付加価値の創造
	流通・交通	・コンタクトレス・セルフ化などの市場ニーズを捉えたセルフ型製品の拡販 ・製品ラインナップの拡充、新たなビジネスモデルによる未導入市場の開拓
	遊技	・スマート遊技機に対応した製品の販売強化
新領域事業	■ DMP事業 ■ IoT製品と*DMPを組み合わせることにより、金融機関・小売店・飲食店などの店舗DXの推進を支援	
	■ 電子決済分野 ■ 決済手数料ビジネス、医療費後払いシステムの拡販	
	■ 生体・画像認識事業 ■ 生体・画像認識技術を活用した新たな分野(医療・介護、鉄道、物流等)に展開	
	■ ロボット事業 ■ コア事業で培った顧客基盤を活用したトータルソリューションの提供	

コア事業

市場変化に対応したソリューション提案の推進

●店舗ロビーエリアに設置するセルフ型製品の拡充



ロビー入金機
SDMシリーズ



税公金ステーション
FKRシリーズ



電子記帳台
ブランチナビ



オープン出納システム
WAVEシリーズ

●B-LINK(製品管理システム)

金融機関店舗の見える化・効率化を推進

- ・オープン出納システム他・・・現金処理情報の確認
- ・鍵・重要物管理機・・・履歴の確認
- ・番号発券機・・・来店客情報の確認



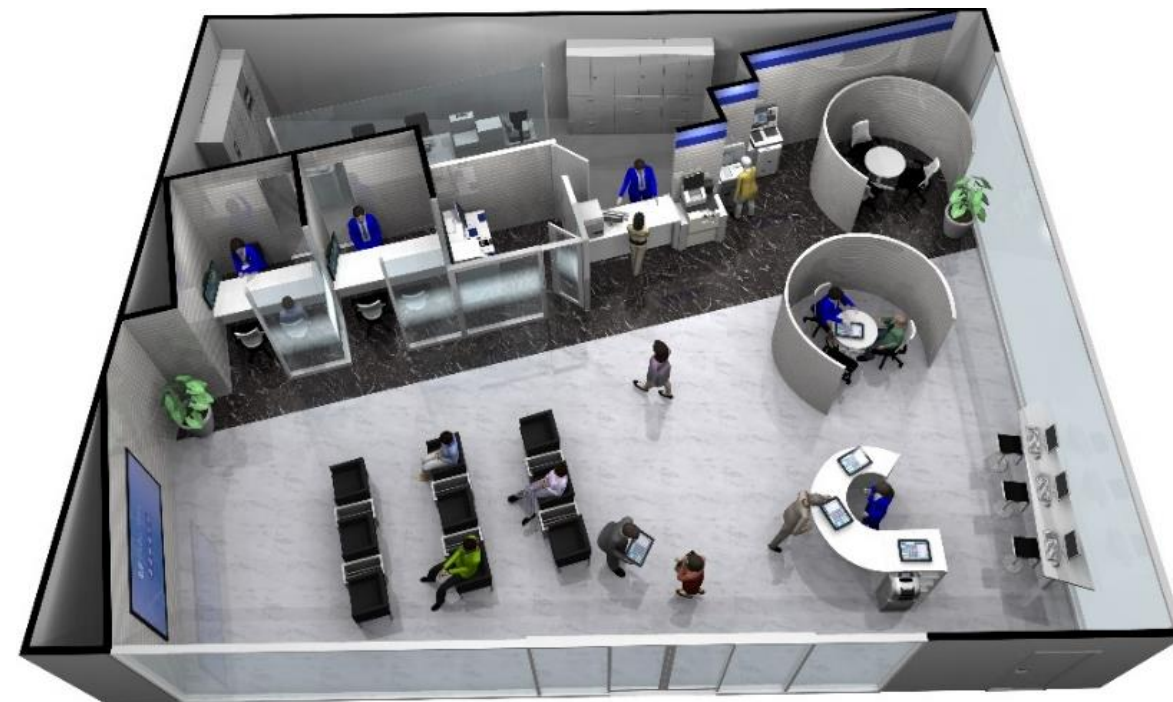
●新紙幣発行に関する需要への戦略的な対応

新領域事業

製品のIoT化による付加価値の創造

●次世代店舗ソリューションの提供

金融機関の次世代店舗スタイルの実現に向けた製品、店舗運営の提案



コア事業

コンタクトレス・セルフ化ニーズへの対応

- コンタクトレス、セルフ化ニーズを捉えた新製品の投入
- 新たなビジネスモデルの構築によるリテール市場の裾野拡大



新領域事業

DMP事業の推進

データ活用サービス「BUYZO」による小売店・飲食店のDX推進

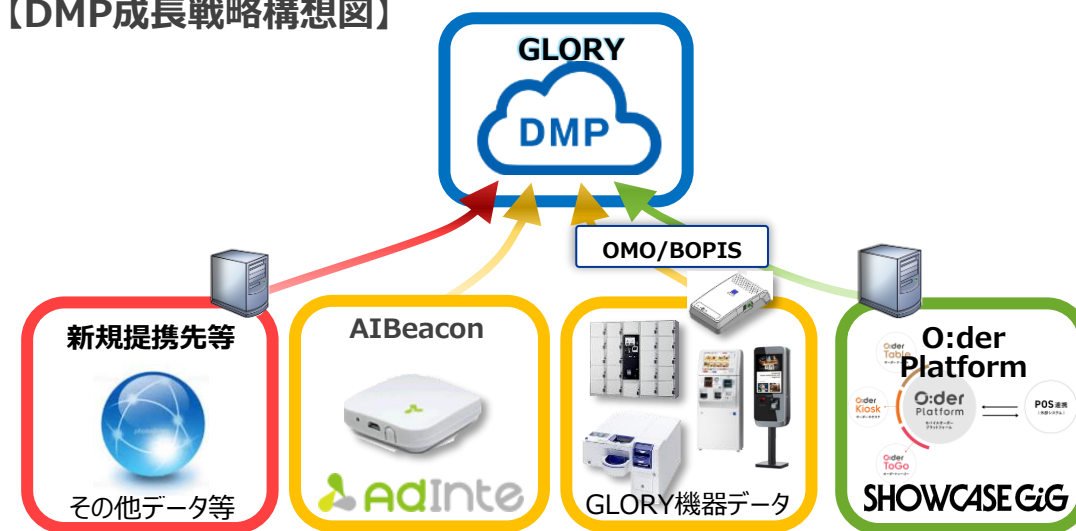
顧客分析や行動解析、Webマーケティング、クーポン・広告等のコンテンツ配信などにより、店舗運営の新たなソリューションを提供



BUYZOとは・・・

顧客データの収集から分析・可視化・施策連携まで一気通貫でグローリーが提供するDMP事業の総称。アドインテ社、ショーケースギグ社との資本業務提携で実現

【DMP成長戦略構想図】



■ 生体・画像認識事業

生体認識技術を活用した新たな分野(医療・介護など)へのソリューションの提供

エコナビスタ株式会社と協業し、介護・福祉施設向け健康見守りサービスを拡大

・離設事故予防システム

顔認証技術を利用し病院・介護施設から
無断で離設する患者様や入居者様を事前に検知

導入例：



ツクイ・ののあやま 様

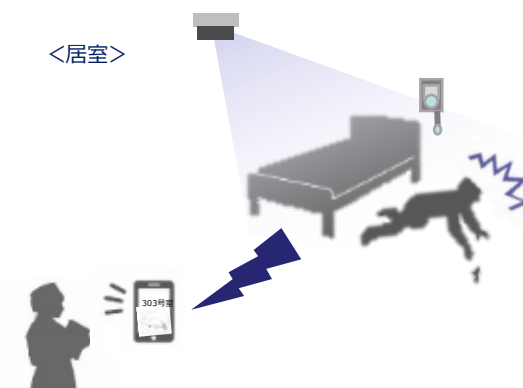


チャームケア 様

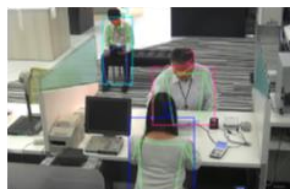
・転倒検知システム（開発中）

骨格認識技術と3次元カメラを用いて
転倒を検知
対象施設2万8,000のうち、
2024年度までに10,000セットの販売を目指す

EcoNaviSta



実証実験に基づいた事業化の推進



骨格認識を活用した
製品企画



鉄道PoC



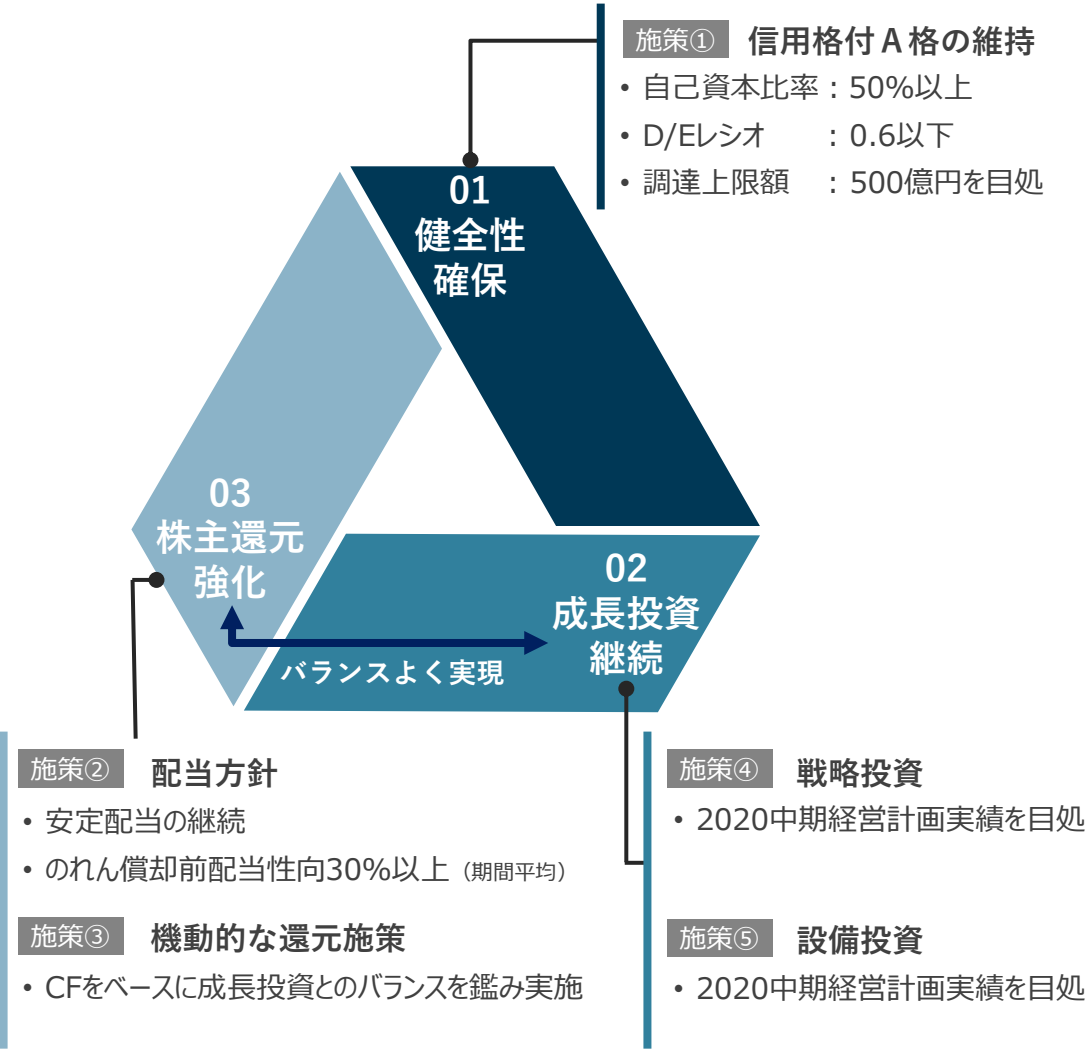
医療・介護PoC



物流PoC

■ 資本・財務戦略 ■

- ・将来のIFRSへの移行を前提
- ・成長投資と充実した株主還元を支えるキャッシュ創出力の強化

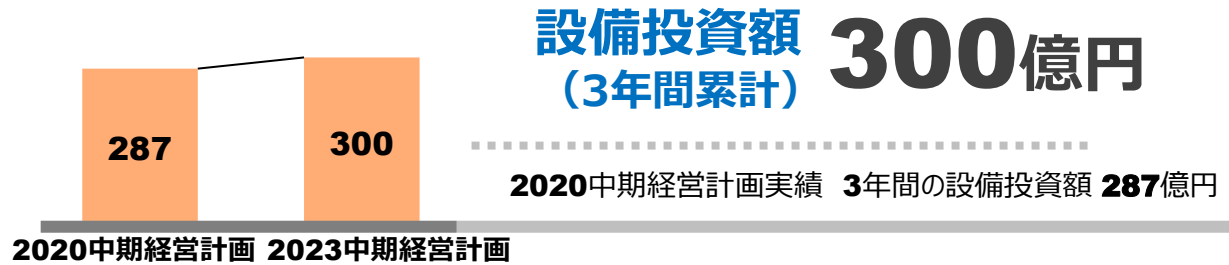


■ 投資計画 ■

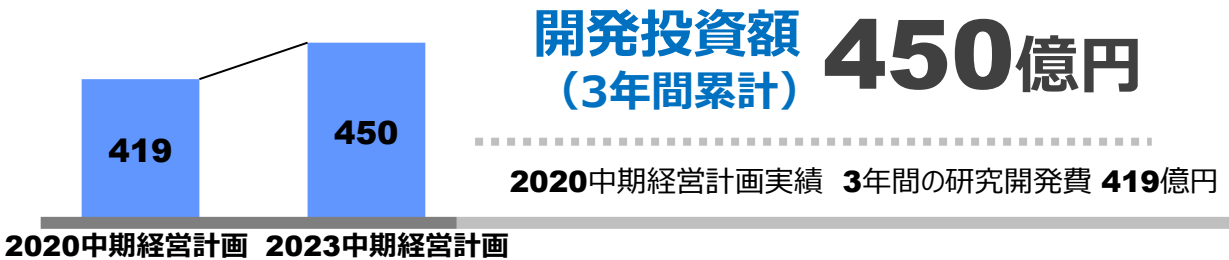
コア事業及び新領域事業への戦略的投資（M & A）



設備投資計画



開発投資計画



【株主還元方針の変更】

変更理由

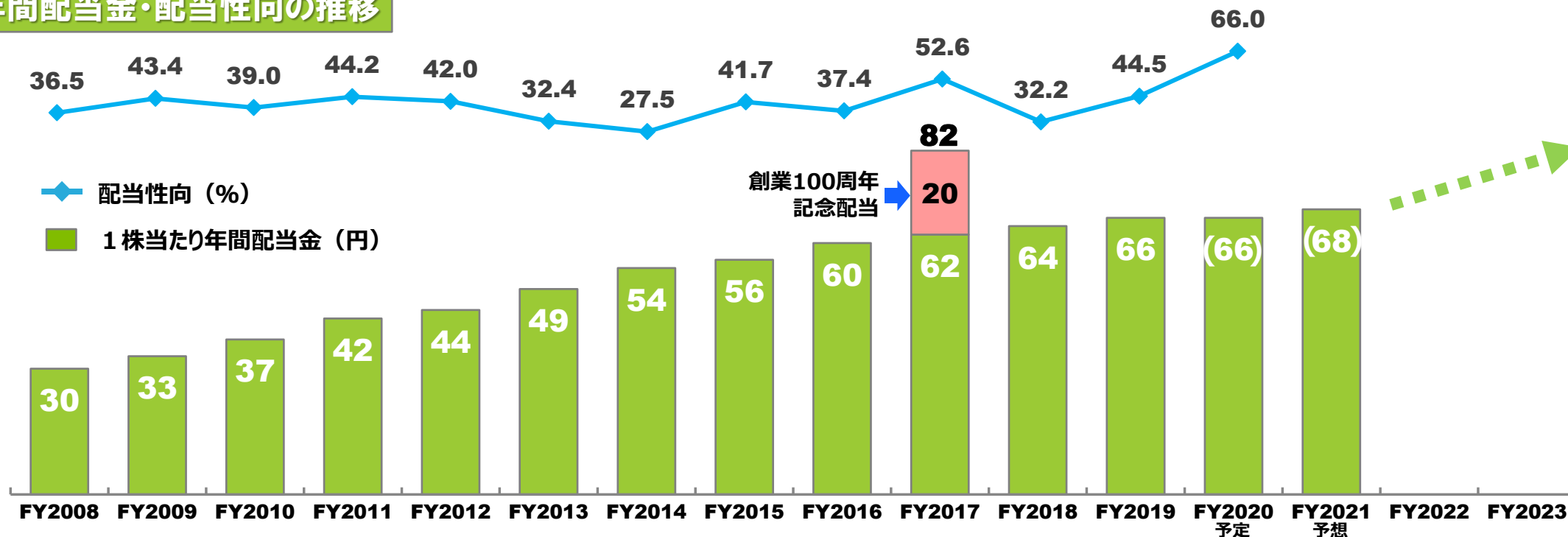
- ・IFRSへの移行を見据え、のれん償却前連結配当性向に変更
- ・2023中期経営計画期間中の安定配当を継続

配当目標

のれん償却前連結配当性向30%以上(2023中期経営計画期間平均*)

*2023中期経営計画期間中の累計配当総額÷累計のれん償却前親会社株主に帰属する当期純利益

年間配当金・配当性向の推移





2022年3月期

通期業績予想

2022年3月期 通期業績予想

【増収減益を予想】

- ・国内市場：新500円硬貨発行の増加した保守売上の反動減により、減収減益を見込むが、流通市場におけるコンタクトレス、セルフ化ニーズは継続し、セルフ型製品は堅調と予想
- ・海外市場：設備投資意欲の回復により、金融市場およびリテール市場ともに増収増益になる見通し

(百万円)		2021年3月期		2022年3月期		前期比
		通 期	売上高比率	通期 予想	売上高比率	
売上高		217,423	100.0%	225,000	100.0%	7,577 3.5%
	保守売上高	78,675	36.2%	76,000	33.8%	-2,675 -3.4%
営業利益		14,201	6.5%	10,000	4.4%	-4,201 -29.6%
経常利益		<u>14,137</u>	<u>6.5%</u>	9,500	4.2%	<u>-4,637</u> <u>-32.8%</u>
親会社株主に帰属する 当期純利益		<u>5,705</u>	<u>2.6%</u>	4,500	2.0%	<u>-1,205</u> <u>-21.1%</u>
EBITDA		29,410	37.4%	25,000	32.9%	-4,410 -15.0%
為替 レート	ドル	106 円		105 円		
	ユーロ	124 円		125 円		

※EBITDA＝営業損益＋減価償却費＋のれん償却費

2022年3月期 通期業績予想 セグメント別売上高・営業利益

(百万円)	売上高			営業利益		
	通 期		前期比	通 期		前期比
	2021年3月期	2022年3月期		2021年3月期	2022年3月期	
海外市場	104,765	120,000	+15,235 +14.5 %	3,836	5,000	+1,164 +30.3 %
金融市場	49,877	40,000	-9,877 -19.8 %	9,861	4,000	-5,861 -59.4 %
流通・交通 市場	48,789	49,000	+211 +0.4 %	2,883	2,500	-383 -13.3 %
遊技市場	11,020	13,000	+1,980 +18.0 %	-290	0	+290 - %
その他	2,969	3,000	31 +1.0 %	-2,089	-1,500	+589 - %
合 計	217,423	225,000	+7,577 +3.5 %	14,201	10,000	-4,201 -29.6 %

海外市場 欧米主要国の設備投資意欲の回復が予想されることから、金融市場、流通市場とも増収増益を見込む

金融市場 新500円硬貨発行に伴い増加した保守売上高の反動減等を予想

流通・交通市場 コンタクトレス・セルフ化ニーズが継続することを予想しており、セルフ型製品の販売拡大を目指す

遊技市場 ホールの設備投資抑制が継続すると予想しており、主要製品の販売等の本格化には時間を要す

海外地域別売上高予想



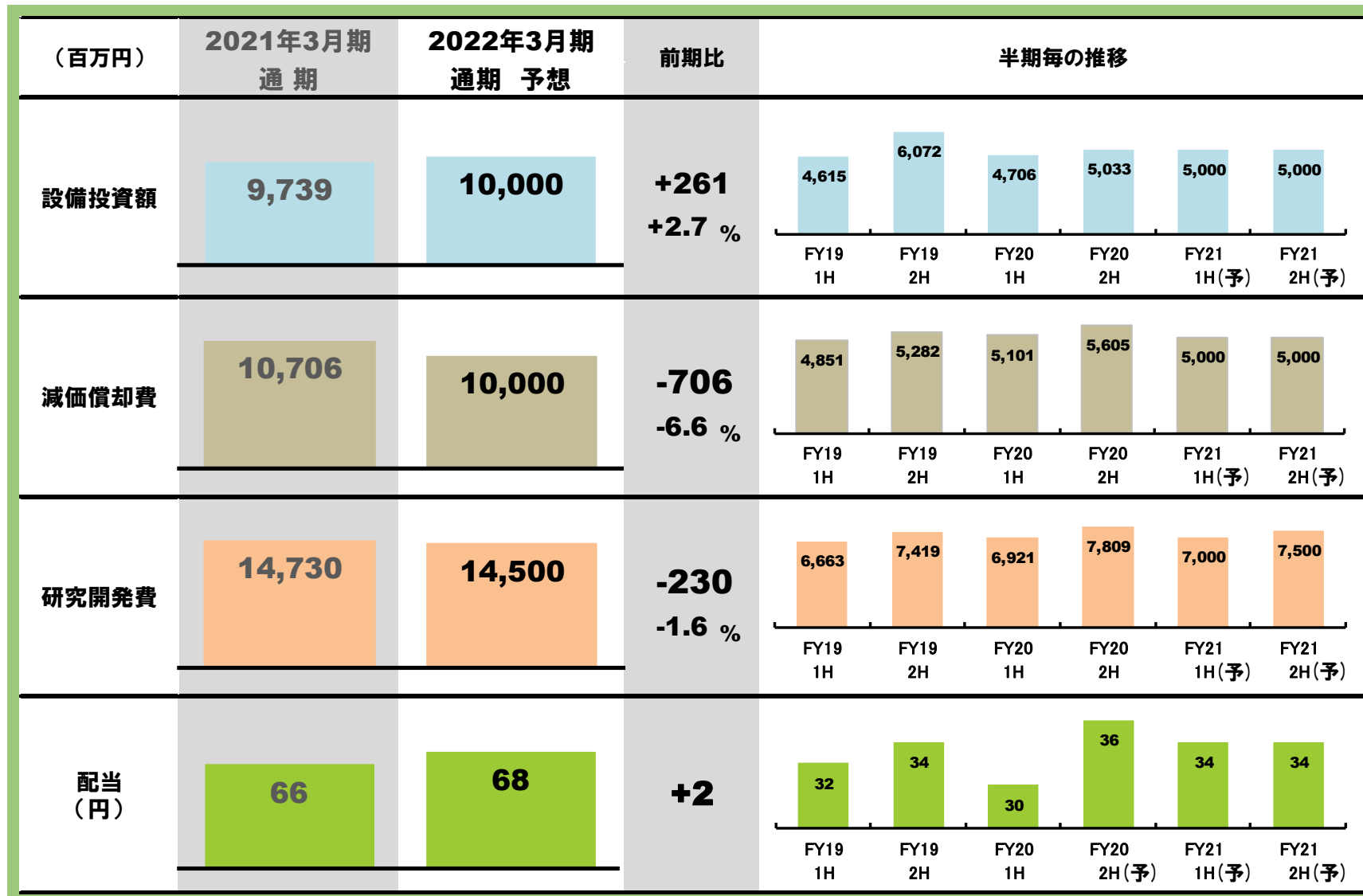
Confidence Enabled
人と社会の「新たな信頼」の創造へ

(百万円)		通 期		前期比	現地通貨ベース
		2021年3月期	2022年3月期予想		
	米州	34,741	42,000	+7,259 +20.9 %	+22.1%
	欧州	49,483	59,000	+9,517 +19.2 %	+18.0%
	アジア	14,153	14,500	+347 +2.5 %	-
	中国	5,521	5,000	-521 -9.4 %	-11.3%
	OEM	6,386	4,500	-1,886 -29.5 %	-29.5%
	合 計	104,765	120,000	+15,235 +14.5 %	-

内 アクレレック		通 期		前期比
		2021年3月期	2022年3月期予想	
		1,125	2,650	+1,525 +135.6 %
		7,297	14,300	+7,003 +96.0 %
		450	950	+500 +111.1 %
		-	-	- - %
		-	-	- - %
		8,873	17,900	+9,027 +101.7 %

※2021年3月期 第2四半期よりアクレレック社を連結業績に組み入れ

2022年3月期 通期業績予想 設備投資・配当金 など



参考資料

2021年3月期 通期 損益計算書・包括利益計算書



Confidence Enabled
人と社会の「新たな信頼」の創造へ

(百万円)	通 期				増減
	2020年3月期	売上高比率	2021年3月期	売上高比率	
売上高	224,170	100.0%	217,423	100.0%	-6,747
売上原価	137,109	61.2%	131,962	60.7%	-5,147
販売費及び一般管理費	69,134	30.8%	71,259	32.8%	+2,125
営業利益	17,927	8.0%	14,201	6.5%	-3,726
営業外収益	785	0.4%	1,589	0.7%	+804
営業外費用	3,197	1.4%	1,652	0.8%	-1,545
経常利益	15,514	6.9%	14,137	6.5%	-1,377
特別利益	226	0.1%	27	0.0%	-199
特別損失	899	0.4%	1,574	0.7%	+675
税金等調整前当期純利益	14,842	6.6%	12,590	5.8%	-2,252
法人税等	5,326	2.4%	6,073	2.8%	+747
当期純利益	9,515	4.2%	6,516	3.0%	-2,999
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,486	3.8%	5,705	2.6%	-2,781

当期純利益	9,515	4.2%	6,516	3.0%	-2,999
その他有価証券評価差額金	-672		1,128		+1,800
為替換算調整勘定	-2,542		4,059		+6,601
退職給付に係る調整額	-1,333		5,264		+6,597
その他の包括利益合計	-4,551	-2.0%	10,459	4.8%	+15,010
包括利益	4,693	2.1%	16,976	7.8%	+12,283

2021年3月期 通期 貸借対照表

(百万円)	2020年3月末	2021年3月末	増 減	(億円)	2020年3月末	2021年3月末	増 減
現預金・有価証券	73,076	66,238	-6,838	買掛債務	18,623	17,072	-1,551
売掛債権	52,838	56,344	+3,506	短期借入金	24,931	15,656	-9,275
棚卸し資産	51,681	52,516	+835	その他	42,212	55,068	+12,856
その他	3,306	4,680	+1,374	流動負債合計	85,766	87,796	+2,030
流動資産合計	180,901	179,778	-1,123	長期借入金	46	3,939	+3,893
有形固定資産	38,503	39,183	+680	その他	35,950	42,539	+6,589
顧客関係資産	17,968	22,473	+4,505	固定負債合計	35,996	46,478	+10,482
のれん	43,246	49,800	+6,554	負債合計	121,762	134,275	+12,513
その他	6,701	8,369	+1,668	資本金	12,892	12,892	0
無形固定資産	67,915	80,642	+12,727	利益剰余金	162,595	164,411	+1,816
投資その他の資産	21,110	31,003	+9,893	その他	11,181	19,029	+7,848
固定資産合計	127,529	150,829	+23,300	純資産合計	186,668	196,332	+9,664
資産合計	308,413	330,608	+22,195	負債純資産合計	308,431	330,608	+22,177

アクレック買収により、のれんは増加。

2021年3月期 通期 キャッシュ・フロー計算書

(百万円)	2020年3月期 通 期	2021年3月期 通 期	増 減
営業活動によるキャッシュフロー	<u>24,555</u>	<u>28,443</u>	<u>+3,888</u>
投資活動によるキャッシュフロー	-13,032	-21,666	-8,634
財務活動によるキャッシュフロー	-15,339	-12,131	+3,208
現金及び現金同等物の増減額	<u>-4,734</u>	<u>-4,357</u>	<u>+377</u>
フリーキャッシュフロー	<u>11,523</u>	<u>6,777</u>	<u>-4,746</u>

2021年3月期 通期 セグメント別売上高・営業利益（予想比）



Confidence Enabled
人と社会の「新たな信頼」の創造へ

(百万円)		売上高			営業利益		
		2020年3月期 通期		予想比	2021年3月期 通期		予想比
		予 想	実 績		予 想	実 績	
	海外市場	101,000	104,765	+3,765 +3.7 %	2,500	3,836	+1,336 +53.4 %
	金融市場	50,000	49,877	-123 -0.2 %	8,000	9,861	+1,861 +23.3 %
	流通・交通 市場	48,500	48,789	+289 +0.6 %	3,500	2,883	-617 -17.6 %
	遊技市場	10,500	11,020	+520 +5.0 %	-500	-290	+210 - %
	その他	3,000	2,969	-31 -1.0 %	-2,500	-2,089	+411 - %
	合 計	213,000	217,423	+4,423 +2.1 %	11,000	14,201	+3,201 +29.1 %

2021年3月期 通期 設備投資他

(百万円)	2020年3月期 通期	2021年3月期 通期	前期比	四半期毎の推移																		
設備投資額	10,687	9,739	-948 -8.9 %	<table><tr><td>FY18 (4Q)</td><td>FY19 (1Q)</td><td>FY19 (2Q)</td><td>FY19 (3Q)</td><td>FY19 (4Q)</td><td>FY20 (1Q)</td><td>FY20 (2Q)</td><td>FY20 (3Q)</td><td>FY20 (4Q)</td></tr><tr><td>2,683</td><td>1,451</td><td>3,164</td><td>2,074</td><td>3,998</td><td>1,134</td><td>3,572</td><td>2,534</td><td>2,499</td></tr></table>	FY18 (4Q)	FY19 (1Q)	FY19 (2Q)	FY19 (3Q)	FY19 (4Q)	FY20 (1Q)	FY20 (2Q)	FY20 (3Q)	FY20 (4Q)	2,683	1,451	3,164	2,074	3,998	1,134	3,572	2,534	2,499
FY18 (4Q)	FY19 (1Q)	FY19 (2Q)	FY19 (3Q)	FY19 (4Q)	FY20 (1Q)	FY20 (2Q)	FY20 (3Q)	FY20 (4Q)														
2,683	1,451	3,164	2,074	3,998	1,134	3,572	2,534	2,499														
減価償却費	10,133	10,706	+573 +5.7 %	<table><tr><td>FY18 (4Q)</td><td>FY19 (1Q)</td><td>FY19 (2Q)</td><td>FY19 (3Q)</td><td>FY19 (4Q)</td><td>FY20 (1Q)</td><td>FY20 (2Q)</td><td>FY20 (3Q)</td><td>FY20 (4Q)</td></tr><tr><td>2,242</td><td>2,316</td><td>2,535</td><td>2,604</td><td>2,678</td><td>2,333</td><td>2,768</td><td>2,755</td><td>2,850</td></tr></table>	FY18 (4Q)	FY19 (1Q)	FY19 (2Q)	FY19 (3Q)	FY19 (4Q)	FY20 (1Q)	FY20 (2Q)	FY20 (3Q)	FY20 (4Q)	2,242	2,316	2,535	2,604	2,678	2,333	2,768	2,755	2,850
FY18 (4Q)	FY19 (1Q)	FY19 (2Q)	FY19 (3Q)	FY19 (4Q)	FY20 (1Q)	FY20 (2Q)	FY20 (3Q)	FY20 (4Q)														
2,242	2,316	2,535	2,604	2,678	2,333	2,768	2,755	2,850														
研究開発費	14,082	14,730	+648 +4.6 %	<table><tr><td>FY18 (4Q)</td><td>FY19 (1Q)</td><td>FY19 (2Q)</td><td>FY19 (3Q)</td><td>FY19 (4Q)</td><td>FY20 (1Q)</td><td>FY20 (2Q)</td><td>FY20 (3Q)</td><td>FY20 (4Q)</td></tr><tr><td>3,125</td><td>3,104</td><td>3,559</td><td>3,556</td><td>3,863</td><td>3,185</td><td>3,736</td><td>3,558</td><td>4,251</td></tr></table>	FY18 (4Q)	FY19 (1Q)	FY19 (2Q)	FY19 (3Q)	FY19 (4Q)	FY20 (1Q)	FY20 (2Q)	FY20 (3Q)	FY20 (4Q)	3,125	3,104	3,559	3,556	3,863	3,185	3,736	3,558	4,251
FY18 (4Q)	FY19 (1Q)	FY19 (2Q)	FY19 (3Q)	FY19 (4Q)	FY20 (1Q)	FY20 (2Q)	FY20 (3Q)	FY20 (4Q)														
3,125	3,104	3,559	3,556	3,863	3,185	3,736	3,558	4,251														

＜注意事項＞

1. 本資料に記載されている、業績見通し等の将来に関する情報は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが含まれます。また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。
2. 当資料の増減率、構成比は、百万円以下を切り捨てた数値を基に算出しており、決算短信の増減率とは異なる場合があります。